

秋庭で遊ぼう！

中庭やエントランスなど、大きな緑地をみんなで共有できるのがマンションに暮らすメリットのひとつ。とくにグランドメゾン(以下、GM)は地域の自然とつながる原種・在来種の樹々をセレクトして植えてありますから、野鳥や蝶、トンボなど多くの生きものが好んで訪れます。ハードウォッシングはもちろん、木の実や落ち葉を拾って、いろんな遊びを編み出すのも楽しみ。陽射しが秋めいてきたら、庭に出てみませんか？



ブナ科の木の実は、みんなドングリ！

クヌギやコナラ、ミズナラ、シラカシ・アカシなど、日本にはブナ科の樹木が多く、雑木林を始めとする身近な自然の風景を形作ってきました。

じつは「ドングリ」は特定の樹木ではなく、ブナ科の木の実(種子)の総称。秋の味覚のクリも同じドングリの仲間です。面白いことにブナ科の樹木にはクヌギやナラ類のように秋に葉を落とす落葉樹と、カシ類のような常緑樹があります。

いずれも実がなる時期は秋で、落葉期の前にはぼとんと地面に落ちるのが特徴。これにはちゃんと理由があって、地面にまだ落ち葉が積もっていない時期に実を落とすことで、野鳥やリス、ノネズミたちに実を発見してもらいやすくするという、植物としての生存戦略なのです。

自ら動けない植物にとって、種子(子ども)を遠くに運んでくれる生きものたちは、なくてはならないパートナー。運搬料のお礼として、食料を分け与えているわけです。



ドングリで遊ぼう

手先を使う遊びは子どもたちの好奇心を刺激するだけでなく、集中力や根気を養います。ただしケガをしないように、注意して取り組んでください。

ヤジロベエ
軸は竹ヒゴや笹の枝など、しなる物を用意。左右には、ドングリの中でも大きいマテバシヤやクヌギの実を挿すと安定しやすくなります。

コマ
ドングリにつまようじを突き刺すだけ。ずんぐりしたクヌギの実がおすすすめです。

ネックレス
どのドングリでも作れます。キリなどで穴を開け、糸を通せばできあがり！

ドングリの見分け方

ずんぐりしていたり、細長かったりと、ドングリにはいろいろな形がありますね。樹種によって最も特徴があるのは「殻斗(かくと)」という帽子の部分。これを知っておくと、ドングリ拾いもいっそう楽しくなりますよ。

頭がパーマ・ヘアのようにくるくと巻いているのが、クヌギのドングリ。

魚のウロコ模様の帽子をちょこんとかぶっているのはコナラやウバメガシ、マテバシヤのドングリです。

毎年、庭を観察していると、ドングリが豊作の年とそうでない年があることに気づきます。天候の影響ではなく、これも植物たちの作戦。毎年、同じ量のドングリを実らせているとその量に合わせて生きものが増えてしまい、実が食べ尽くされてしまいます。それでは子孫を残せませんから、ふだんは不作ぎみにして生きものの数を抑えておき、ある年、突然、豊作にします。すると食べられずに生き残る実が必ず出てきます。そうやってブナ科の樹々は、確実に自らの子孫を残しているんです。

木の实や落ち葉で、美しくおいしく。

赤に黄、茶、金……常緑の合間で日ごとに色を変える落葉樹の美しさも、秋の楽しみですね。落ち葉や枯れ枝を拾ったら、暮らしの中に取り入れてみませんか？ リースを作ったり、お気に入りの器に盛ってスタイリングするだけでも家の風景が変わります。もちろん、ドングリはおやつにもなります。クリ以外で最もおいしいのはスタジイで、生で食べることができます。ツブラジイも生でいけるお味ですが、小さい実なので皮をむくのに手間がかかります。マテバシヤやイチイガシはフライパンなどで炒ってどうぞ！

おいしいドングリ

マテバシヤ イチイガシ

スタジイ ツブラジイ



グランドメゾンの庭によく植えられている、ヤマモモの実。収穫期は夏ですが、そのまま食べても、果実酒にしてもおいしいんです。



木の実を集めて、お気に入りの器にスタイリング。

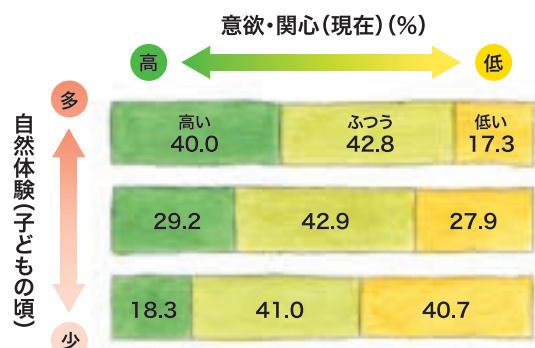


落ち葉を拾ってアートフレームにしたり、手紙に添えるのも素敵。



木の实や枯れ枝で、リース作りはいかが？

自然体験が多い子どもほど、意欲・関心の高い大人に!



『子どもの体験活動の実態に関する調査研究』
独立行政法人国立青少年教育振興機構(2010年)より
N=5000(20~60代の成人)

野鳥も好んで訪れますから、わが家のバルコニーでバードウォッチングを楽しむのも夢ではありません。

とくに成長期の子どものとって、「5本の樹」の庭は五感を育む自然の教室になります。さまざまな形や色、音、匂いにフクワクさせてあげましょう。家族と一緒に遊んだ時間は子どもたちにとって、かけがえのない思い出になると思います。

GMの庭も外構部の植栽にも一つの大きな特徴があります。それは積水ハウス独自の「5本の樹」という自然共生の思想を込めて計画してあるということ。3本は鳥のために、2本は蝶のために「日本の原種」在来種の樹木や草花を植えることで、地域の生態系に役立つ緑なのです。

その土地の気候風土に合った常緑樹・落葉樹を混ぜて植えますから、夏は樹々が陽射しを遮り、葉ずれの音がさわさわと涼しさをもたらします。秋になれば紅葉や実の収穫を楽しめ、冬は落葉樹が葉を落として陽射しを広げ、常緑樹が緑の風景を保ってくれます。

季節の中で、一緒に遊ぼう!!



水辺のあるビオガーデン。じつは野鳥は水浴びが大好きな、清潔好きな生きものなんです。(GM西九条B10/大阪府)

bird watching quiz この鳥の名前は?

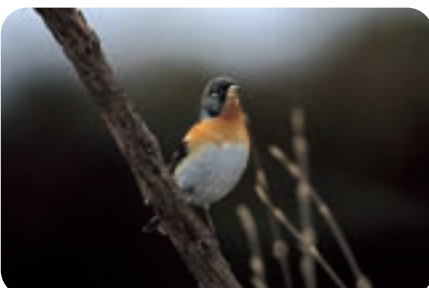
庭で見かける野鳥たち。名前や特徴を覚えてみましょう。出会いがもっと楽しくなると思います。鳥によっては鳴き方が「さえずり」と「地鳴き」に分かれています。さえずりは縄張り宣言や求愛の際の鳴き声で、地鳴きはふだんの鳴き声。たとえばウグイスはお馴染みの「ホーホケキョ」がさえずり、地鳴きは「チャッチャツ」です。



①胸にネクタイをしているような柄が特徴で、スズメほどの大きさ。樹についた虫をたくさん食べてくれ、ピーナッツも大好物です。【鳴き声】さえずりは「ツーピー、ツーピー」、地鳴きは「チージュクジュク、チーツ、ツー」



②翼の一部に青と白の混じった美しい羽根があり、ハドほどの大きさ。ドンクリが大好き。【鳴き声】「ジェーイ」と鳴く他、トビや猫の鳴き声を真似することもあります。



③翼と尾は黒く、胸がオレンジ色。スズメより少し大きく、冬鳥として日本に渡ってきます。群れで見られることが多い鳥です。イチイやナナカマドなどの実が好物。【鳴き声】「キョッキョッキョ、ジューウ」と鳴きます。



④スズメほどの大きさ。北から日本海を渡ってくる、冬鳥の代表です。おなかかオレンジ色に美しいのは雄。ムラサキシキブの実や地中の虫もお好み。【鳴き声】「ヒツ、ヒツ、ヒツ、カッカツ」と鳴きます。



⑤目の周りが白いことが名前の由来。花の蜜が大好きで、冬はヤブツバキの花を目当てに訪れます。スズメよりもさらにスモールな小鳥。【鳴き声】さえずりは「チーチュルチーチュル」、地鳴きは「チー、チョーキリキリキリ」です。



⑥おとぎ話の「舌切り○○○」でお馴染み。エサがあると真っ先に現れ、他の鳥はこの鳥の姿があると安心して訪れるという先発隊です。【鳴き声】さえずりは「チツチュン、チツチュン」、地鳴きは「チーチー、チツツ」



⑦緑の多い場所では冬から春先に見られます。とても器用な鳥で、堅い実を足ではさんでクチバシで割ったりするのが特技。【鳴き声】さえずりは「ツーツーピー」、地鳴きは「チツ、チツ、ジェーシェー」



⑧姿も声も美しい、バードウォッチャー憧れの鳥。ニシキギやマユミなどの木の実の他、ハエやアブも食べてくれます。【鳴き声】さえずりは「フィヒーロー、オーシツク、オーシツク」、地鳴きは「カッカツ、クルルル」

bird watching quizの正解...①シジュウカラ ②カケス ③アトリ ④ジョウビタキ ⑤メジロ ⑥スズメ ⑦ヤマガラ ⑧キビタキ(P28の鳥も「キビタキ」です)



緑が連続する外構。野鳥や蝶など多くの生きものの「通り道(グリーンロード)」になります。(GM南山ヴァンクール/愛知県)

里山とつながる植栽によって地域の生きものが多く養われ、懐かしい風景を子どもたちに残していくことができます。(GM東戸塚/神奈川県)



起伏のあるデザインや下草は、コオロギやカナタキなど鳴き声の美しい秋の虫たちの棲み家に。(GM伊勢山/神奈川県)